

千葉市都市緑花懇談会の

第1次提言書

平成20年7月

千葉市都市緑花懇談会

目 次

千葉市都市緑花懇談会の第1次検討事項をまとめるにあたって・・・	1
第1章 検討内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第2章 魅力ある公園にするための管理・運営・・・・・・・・	5
1 背景と役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2 現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3 目標の公園像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4 魅力ある公園に向けた千葉市版 パークマネジメントプランの策定・・・・・・・・	8
資料（検討の経過、設置要綱、委員名簿）・・・・・・・・	15

千葉市都市緑花懇談会の第1次提言をまとめるにあたって

千葉市都市緑花懇談会は、学識経験者、都市緑化関係団体や市民団体等の代表者、公募で選ばれた市民からなる委員により平成15年に設置されました。

市民とともに緑豊かで花のあふれるまちづくりを実現するため、その施策展開等について調査検討を行うことを目的としています。

千葉市全体の緑の将来像を描いた「千葉市緑と水辺の基本計画」は、平成9年に策定され、その後の様々な社会状況の変化などに対応するため平成22年度に見直しが予定されており、その施策に反映させて頂きたく提言をまとめました。

第1回から第3回、第4回から第8回までの2部構成になっております。

第1回から第3回までは、花と緑のまちづくりの基本的考え方について検討していただきました。その結果を現在展開している花のあふれるまちづくり推進事業に反映しております。

第4回から第8回までは、これからの検討内容を整理し、その内容に沿って課題を取り上げました。

緑豊かで花のあふれるまちづくりを目指すために大切なことは、人と人とのつながりであると考え、「連携・協働」を懇談会の共通テーマとして掲げました。

そして、検討すべきテーマを以下の3つに絞りました。

- (1) 魅力ある公園
- (2) 緑の保全
- (3) 緑化推進と花のあふれるまちづくり

これらの中からまず、(1) 魅力ある公園の検討課題の一つである「魅力ある公園にするための管理・運営」を取り上げました。

市民が楽しく管理・運営できるような「魅力ある公園」を広げることにより、人々のコミュニケーションの場が増えれば、緑豊かで花のあふれるすばらしいまちづくりを実現することも可能です。

しかし、今のところ市民参画や安全・安心、人にやさしい公園というような市民と社会の要求に十分応えることができない状況にあります。

個別にみると千葉市においても、市民グループの運営する「子どもたちの森公園」や、市民が樹林地の管理運営を行っていく「市民緑地」の取り組みがあり、市民参加による居心地のよい場所づくりの先例となっていますが、今後、身の回りにある公園を「魅力ある公園」にしていくためには、市民やNPO団体、企業の皆様と協働で進めていく体制づくりが不可欠です。

千葉市には既存の都市施設として様々な公園緑地が数多くありますが、一番大切なのは、これから市民や企業の参加しやすい管理体制づくり、行政の組織づくりであり、創意工夫をもって積極的に進めてほしいと考えています。

最初は小さくても、この提言が千葉市独自の「魅力ある公園」を生み出す初めの一歩として大きな力となり、行政だけでなく市民の皆様が魅力ある公園づくりに参加し、一緒に歩んでいくことを期待します。

平成20年7月

千葉市都市緑花懇談会
会長 田代順孝

第1章 検討内容

1 検討事項の概要

緑豊かで花のあふれるまちづくりを実現するため、都市緑花懇談会で検討する内容を選定した。共通テーマは「連携・協働」を掲げ、3つのテーマを取り上げた。これらの内容を「千葉県緑と水辺の基本計画」などの施策に反映させるため、新しいしくみ・組織・条例につながる提言を行う。

(1) 共通テーマ「連携・協働」

財政状況等が厳しい中、いかに効率的に質の高い公園緑地行政が進められるか、市民・NPO・企業など民間との協働・連携を検討する。

(2) テーマ

- ① 魅力ある公園
- ② 緑の保全
- ③ 緑化推進と花のあふれるまちづくり

2 魅力ある公園にするための管理・運営

検討事項の3つのテーマは順次検討することとし、最初は、①魅力ある公園を取り上げる。その中でも、共通テーマである「連携・協働」と大きく関わる課題である公園等の管理運営を検討する。

(内容については別紙のとおり)